

茅ヶ崎セントラルクリニック 宮田 由美子(看護師長/看護部)

功 績	経験を活かした行動力が組織を変化させ、過去最高の紹介患者数を獲得した功績
推 薦 者	花岡 美奈子(看護部長/看護師)
推 薦 理 由	組織として常に予算を意識させ、利益を確保するため、空きベッドをつくらずに稼働率を維持するためにはどのようにすれば良いかを幹部職員として率先して体現した事例だと思い理事長賞に推薦させていただきます

内 容

「紹介数が伸びない。紹介患者を増やすためにはどうすれば良い?」。

前年度から課題でした。前年度前半から試行錯誤を重ね、当年度初めに全員でマーケティング改革に取り組みました。

ある病院からの紹介に頼っていると間違った情報の浸透、これ以上は増やせない等の志向もあり、最初は全員が同じ方向を向いていたとは言えませんでした。

その状況の中で長年の経験を活かし、宮田氏は院長、看護部長と協働で、まず初めに地域の基幹病院との紹介患者報告会開催にこぎつけました。顔が見え、情報が双方向で共有され、入通院がスムーズに運ぶ事で患者さんの安心感、医療職同士の信頼関係の強化につながりました。

また紹介元となり得る病院の先生が座長の勉強会に、勤務後率先して職員と参加し、先生に名前を覚えてもらい、その場で患者紹介を頂くといったケースもあり、コンスタントに紹介がくる流れに変化してきました。

次に新規受け入れでベッドを空ける必要性が表出した為、入退院患者をコントロールする仕組みを作り、いつでも新規を受け入れ、全員が稼働率を意識するようになりました。

結果、過去20年間、20件前後で推移していた紹介患者数が30件を超え、最終33件を記録しました。

全員の努力の結果ですが、やればできる、自分たちが自ら動けば変わるという意識を職員に徹底させ、変化があり活気のある組織に変わる段階で非常に大きかったと考えます。